

1. 件名：福島第一原子力発電所におけるコンクリートキャスク導入に関する面談

2. 日時：令和5年7月3日（月） 13：30～13：50

3. 場所：規制庁18階会議室A

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

森上席技術研究調査官、古田副主任技術研究調査官、菱田安全技術専門職

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 プール燃料取り出しプログラム部 4名

5. 要旨：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ（以下「基盤グループ」という。）では、コンクリートキャスクに関する調査を行い、その結果を報告書にとりまとめ、原則として国立国会図書館へ納本し、公開している。今般、「6. 配布資料等」に示す報告書の内容について東京電力ホールディングス株式会社から問い合わせがあったため、本面談において、基盤グループより当該報告書の概要を説明した。

6. 配付資料等（※）：

- 平成28年度乾式貯蔵施設を用いた破損燃料等の貯蔵に係る調査（貯蔵システム全体）成果報告書
- 平成30年度原子力規制庁請負成果報告書 キャニスタを用いた乾式貯蔵方法の多様化に係る調査
- 令和元年度原子力規制庁請負成果報告書 乾式貯蔵施設に対する深層防護概念の適用に係る調査
- 令和2年度原子力規制庁請負成果報告書 キャニスタを用いた使用済燃料の乾式貯蔵方法に係る調査

※：いずれも国立国会図書館に納本済み

以上